

- 問1 心臓が縮んだりゆるんだりして、体の中に血液を送り出す動きのことを何といいますか。
- 問2 心臓から送り出された血液は、からだの各部分に酸素や養分をわたしたあと、かわりに何を受けとって心臓にもどりますか。
- 問3 口の中で食べ物とまざる液には、食べ物に含まれるてんぷん^{ふく}を別のものに变化させるはたらきがあります。この液のはたらきを何といいますか。
- 問4 肺や心臓の下あたりにある重さ約1kgの臓器で、小腸で吸収した養分をたくわえ、必要ときに全身に送り出すはたらきをしているものはどれですか。
- 問5 血液が心臓から送り出されて全身をめぐり、必要なものを運んで再び心臓へ^{もど}る一連の流れを何といいますか。
- 問6 肺に送られて二酸化炭素を出し、酸素をとり入れて、ふたたび心臓にもどるもののことを何とよびますか。
- 問7 食べ物が歯などで細かくされたあと、だ液などによってからだに吸収されやすい養分に変えられることを何といいますか。
- 問8 手首などで感じることができる脈はくのテンポ（速さ）は、体の中のあるものの動きと同じですが、それは何ですか。
- 問9 心臓がたえず動き続けることによって、全身に送られているものはどれですか。
- 問10 ヒトが体の中から外へ吐き出す^{はきだす}空気のこと、吸う息に比べて酸素が減り、二酸化炭素や水（水蒸気）が多くふくまれているものを何といいますか。
- 問11 心臓のはたらきによって送り出された血液の流れでできるもので、手首などで感じることもできるものを何といいますか。
- 問12 タンパク質が体の中で使われるときにできる有毒なアンモニアを、かん臓が無毒な物質につくり変えたものを何といいますか。
- 問13 ヒトが呼吸をするときに、まわりから体の中に^{すいこむ}吸い込む空気のことを何といいますか。
- 問14 運動をしたときに、心臓が速く動くことによって、ふだんよりも数が増えるものはどれですか。
- 問15 私たちの体の中で、血液を全身に送り出すはたらきをしている臓器はどれですか。
- 問16 空気中の酸素の一部を体にとり入れ、体の中でできた二酸化炭素を外にはき出すはたらきのことを何といいますか。